

議会だより

みんなで作る
うるおいとにぎわいのまち
東近江市



議会風景（仮議場：湖東信用金庫大ホール）

Contents

- 議長・副議長就任あいさつ…………… 2
- 3月定例会代表質問…………… 3～7
- 全議員紹介…………… 8～9
- 3月定例審議議案…………… 10

平成17年
創刊号
5月22日発行

安心・安全

住んで良かったまちを

市民みんなの手で

議長 高村 与吉
副議長 鈴木 重史

平成17年2月11日東近江市が誕生いたしました。

旧八日市、永源寺、五個荘、愛東、湖東の1市4町7万9千人の住民が、美しい元気都市をめざして一つになりました。

21世紀地方分権の時代、避けて通れない問題として、4年半の時間をかけて議論を重ね、波乱と紆余曲折の末、今あたりしい手づくりのふるさとを創りあげる時がきました。

いよいよ、みんなで練り上げた新市まちづくり計画が、実行に移されます。加えて来年1月1日には、能登川町、蒲生町

と合併することが、3月議会で議決され知事に合併申請がされました。

人口が11万7千人余、面積が383・3平方キロと人口、面積ともに滋賀県3番目の都市になります。自然を大切に豊かな安心で安全、住んで良かったと実感できるまちを市民みんなの手で築きあげましょう。

この大切なときに市議会議長、副議長の要職を命ぜられました。たいへん光栄なことですが、新市がスタートしてまず、取り組み解決しなければならぬことや山積する諸問題を考えるとき、議

会も行政も未知の分野が多々ある現実を前に身の引き締まる思いの中、責任の重大さをひしひしと痛感しております。

私どもは、すべての市民の皆さんの深いご理解と温かい叱咤激励をお願い申し上げ、公平公正を旨として議会の円滑な運営に全力を傾注し、新市のまちづくりの基礎を固めるべく、与えられたことの重責を全うしていきたくと強く認識しております。

どうか格別のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨時議会報告(2月16日)

- 議長、副議長選挙
- 議席、会期決定
- 常任委員会、議会運営委員会委員の選任
- ◇広域行政組合

議会議員選挙

- ・八日市衛生プラント組合、中部清掃組合、布引斎苑組合、東近江行政組合、愛知郡広域行政組合、湖東広域衛生管理組合

◇東近江市議会規則・条例の制定

- ・東近江市議会会議規則
- ・東近江市議会傍聴規則
- ・東近江市議会委員会条例

- ・東近江市議会事務局設置条例

◇専決処分事項

- ・東近江市役所の位置を定める条例ほか236件の条例の制定について

- ・平成16年度東近江市一般会計暫定予算ほか12件の暫定予算
- ・東近江市の町(字)の名称の変更について

- ・東近江市指定金融機関の指定について
- ・東近江市及び能登川町介護認定審査会の共同設置について
- ・東近江市、蒲生町、日野町、および能登川町障害児通園(デイサービス)事業の事務委託について
- ・名神高速道路に関する救急業務に係る関係関連事務の委託について
- ・東近江市の字(町)の区域及び名称の変更について
- ・東近江市の字(町)の区域及び名称の変更について

- ◇東近江市・能登川町・蒲生町合併協議会の設置につき議決を求めることについて
- ◇八日市市土地開発公社定款の変更につき議決を求めることについて
- ◇市長の専決処分事項の指定について

いずれも原案通り可決、承認されました。

3月議会

総括質問

東近江市民クラブ

問 東近江市と能登川町、蒲生町との合併による財政計画の投資的経費については、サービスを怠ってはならない。合併による人件費の削減以外にはないと思うが。

答 厳しい財政環境のもと、事務事業の見直しや民間活力の導入などとともに、人件費を含め経費削減に取り組んでいきたいと考えています。

さらにその決意の一端として、今議会に特別職の報酬を引き下げる「特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」を提案しました。今後とも市民の皆様や議会のご理解を賜りながら、行財政改革の推進、財政の健全化に努めます。

問 1市2町合併後の能登川町、蒲生町の2公立病院への財政負担と病院会計規模、および人間にとって一番大切な安心な救命救急医療体制は。



東近江市役所

答 能登川町および蒲生町が運営する病院については、地域医療の拠点としての機能を維持するため、基本的には現行のとおりに東近江市に引き継ぐこととします。両病院の

会計の状況を平成15年度で見ると、医業収入ベースで約42億円。一般会計からの繰り出し金については3億6600万円を支出しています。人口、病床数、元利償還金の額に応じて交付税が充てられているものですが、厳しい経営環境にあること

には違いありません。

合併協定においては、東近江地域にある医療機関の連携や機能分担も踏まえながら東近江市の医療体制について、早期に総合的な検討を行うこととしていきます。

現在、東近江行政組合においては、休日や夜間の重症救急患者に診療を行う第二次病院として国立病院機構滋賀病院、山口病院、近江八幡市民病院、蒲生町病院、能登川町病院が指定され、これらの病院が輪番制で対応

していただいているところで、こうした取り組みにより本地域の救急医療体制は、24時間365日、市民のみなさんに安心いただける医療体制が確保されていると考えています。

問 旧八日市管内小学校児童数の偏在と旧4町の1校当たりの児童数は。

答 東近江市立の小学校は合併により16校となり、八日市南小学校の942人から政所小学校の24人まで様々な規模の小学校が存在しています。

現在、旧市町別の1校当たりの平均児童数は、八日市440人、永源寺104人、五個荘797人、愛東174人、湖東175人となっており地域によって児童数に差があります。学校は、それぞれの地域にあった特性や施策、また立地条件等のなかで設置されてきた歴史があります。

問 八日市南小学校の耐用年数は。

答 八日市南小学校の校舎は、昭和39年の建設で

マーガレットクラブ

築後41年を経過しているものの、鉄筋コンクリートの校舎は、財産の処分制限期間47年という年数に達していない中で著しく老朽化が進み、耐震予備調査の結果から耐震補強よりも改築を前提とした取り組みが必要となっています。

問 地域活動の単位と小学校区の相違は。

答 旧八日市の公民館区数は、8地区であり小学校区の6地区と一致していないので、児童の地域活動の関わりに問題点が多く行事等の企画において地域の枠を越えた受入れを実施するなど、公民館区と学区との関係を視野に入れた対応を充実させるよう努めていきます。

その他の質問

- ・ 道路行政について
- ・ 農業政策について
- ・ 農地の規制緩和と里山の環境整備について
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 観光行政と商工業振興
- ・ 木造住宅耐震診断について

問 6本の柱を軸に市政を運営すると表明されたがその決意は。

答 一つ目は「元気で安心して暮らせる福祉のまちづくり」。二つ目は「人と環境にやさしいまち」。三つ目は「人々が元気に働き、にぎわいを生むまち」で産業の振興、都市基盤の整備をすすめます。四つ目は「若い力を育て、人材をいかすまち」として子どもたちをしっかりと育てる施策を推進します。

五つ目の「行財政改革の推進」については、合併は行財政改革を進める最大の機会と位置付けています。

六つ目の能登川町、蒲生町との合併は、人口11万4千人とスケールメリットが広がり行財政の効率を図れると思っています。

問 他府県の学校では殺人事件が発生したが、当

市の安全対策は万全か。

答 本市では不審者侵入時の「危機管理マニュアル」を作成し、緊急対応ができる体制を整えています。安全管理は学校だけではありませんので、引き続き、地域やPTA、青少年育成団体に積極的に呼びかけ、パトロールや巡回指導を実施するなど学校と保護者、地域との連携も強めていきたいと考えています。

問 愛東北小のプール建設計画は。

答 築後36年経過し老朽



化が進んでいることは認識していますが、国の三位一体改革が進められている中で、動向を注視しながら進めていきたいと考えています。

問 合併特例債の使途と財政安定化への取り組みは。

答 自治体の課題として教育、福祉、環境、安心、安全などがテーマとなっており、こうした分野の社会資本の整備に充当していきます。

財政安定化の取り組みは、限られた歳入に見合った歳出を基本に選択と集中の考えで取り組みます。

その他の質問

- ・ 電気ショック治療器の学校への導入計画
- ・ ウェストランド構想について
- ・ ケーブルテレビ事業について
- ・ 道路行政について
- ・ 行政改革について

新風クラブ

問 合併に伴う市民の不安の解消は。

答 合併は市にとって大きな変革であることから、合併直後の混乱をできるだけ回避し、各地区の地域性を生かした事業展開を進めていくため、各支所に部長級の支所長を配置し、市民との接点としてほかに、市民サービスを直接担当する業務については支所に残し、不便のないように配慮しています。

また、本庁にはまちづくり推進課を、支所には地域振興課を設置し、市民主体の「まちづくり協議会」の運営を支援することとしています。

市民の皆さんと行政の間で、気持ちを通い合う協働のまちづくりを進めることができると思っています。

問 「美しい元気都市」について。

答 「美しい」とは、環

境を守り、次の世代にきちんと引き継ぐとともに、精神的な意味での清らかさも含めて、より美しくくうるおいのあるまちをめざすものであり「元氣都市」は、基幹産業である農林業をはじめ商業、観光など産業の活性化、元氣な活動が行われることであります。

また、人々が元気に働き生涯を通して元気に学ぶ姿であり、高齢になっても住み慣れたふるさとで、いきいきと元気に暮らすことのできるまちを目指すものです。

問 各部署の経費節減は。

答 日常業務の中でコピー用紙の節約、封筒の再利用、公用車の台数削減と経済運転の励行、節電、節水、会議資料の簡素化等、地球温暖化防止を旨指し環境保全対策と合わせて経費節減に努めています。

問 里山保全に対する具体的な取り組みは。

答 かつての人との関わりを失い荒廃している里山を保全するために、そ

の精神、対応策、効果等を明らかにした里山保全条例を検討します。

そして、この作業の中では里山を保全することに伴う今日的価値を明らかにして、市民活動や子どもたちの自然体験の視点からも有意義なものにしなければならぬと考えています。

その他の質問

- ・新市の財政運営とまちづくり
- ・災害と環境対策と道路行政について



里山保全

- ・農業問題について
- ・観光問題について
- ・安心・安全なまちづくりについて
- ・教育問題について
- ・情報公開の進め方について

- ・財政計画の策定
- ・学校等の安全対策の現状と今後の方針
- ・ケーブルテレビ事業について
- ・人件費削減について
- ・市東庁舎の配置部署について
- ・森林組合の今後のあり方について
- ・永源寺第2ダムの関係機関等の動向と費用対効果について
- ・支所職員の採用について

緑風クラブ

問 地域防災計画および水防計画の作成状況は。

答 地域防災計画は現在、案の策定作業中で計画ができるまでの間は旧

市民の安心・安全を守る
東近江消防本部



市町の地域防災計画に基づく対応を行うとともに、災害の発生に備え災害対策本部体制や職員初動マニュアルを作成し体制整備に努めています。

また、水防計画は水防法の規定により毎年水防計画書を作成し、被害を未然に防止、軽減できるよう努めています。

問 防災機器等の配備見直しは。

答 旧五個荘町の防災行政無線は未整備のため、旧八日市市の無線機を配備し本庁との通信を確保する計画です。

すでに整備している他の旧市町も無線機の周波数が異なるため、本庁と支所とを遠隔制御装置で結び通信を可能にする予定で、将来は周波数を統一する必要があります。

また、他の機器は基本的に充足していますが、各々の状況を踏まえ対応していきます。

問 東近江消防本部と愛知消防本部との連携は。

答 現在、彦根市消防本部を加えた3本部で東

ロックとして合同の訓練や情報交換を行い、連携を図っています。

また、大規模災害については、消防長会（県組織）で応援協定を締結しお互いに出動していく体制をとっています。

さらに、携帯電話からの119番通報は現在、主に彦根市消防本部にながらようになっていますが、今年12月からその通報は主に所轄の消防本部に直接つながるようになります。

新輝クラブ

問 東近江市の農村・農業施策の基本的な取り組みは。

答 東近江市としての今後の農業のあり方については、集約できる施設野菜、露地野菜、果樹、花卉、畜産、タバコ等は、従来に増して、その振興に努めていかなければなりません。

集落一農場での取り組みや集落営農での水稲、麦、大豆等の取り組み等は、さらに力強く推進し、生産コストの低減に努める必要があると考えます。一方、売れる、売り切れる米づくりとしては、環境こだわり米の推進に取り組んでいきます。消費者が安全で安心な食糧を求めていることから、このニーズを生産段階から配慮した循環型農業を農家自らの問題としてとらえていくことを東近江市の農業の姿として位置付け、集落全体で取り組

める方策を推進していきたいと考えます。

問 予算規模と重要課題、継続事業の見直しは。

答 17年度予算については、予算編成方針説明会を行ったなかで、新市のまちづくり計画に掲げられた施策を着実に推進するため、施策の重要度を的確に判断して、より一層「選択と集中」を徹底するよう示達したところです。

予算規模は、合併特別債事業や普通建設事業の総額により大きく変動しますが、15年度の300億円に10%程度の伸びを見込んでいます。

継続事業の見直しについては、各部の予算要求を取りまとめた上、事業の重要度を判断していきたいと考えます。

その他の質問

- ・合併特別債の活用とケーブルテレビについて
- ・今後の職員削減計画と機構改革について
- ・永源寺第2ダム建設促進と国道421の改修

- ・道路の整備促進計画
- ・今後の福祉政策の取り組みと課題について
- ・安心安全な暮らしと条例制定について
- ・これからの人権教育の取り組みについて

日本共産党議員団

問 合併特別債を活用し51億円もかけて、ケーブルテレビ事業を計画しているが多くの問題点がある。加入率は旧八日市市で50%としているが、これでは「住民に等しく情報の受益」とならず、費用対効果の面からも再検討すべきだ。

また、各地の大震災の教訓から、防災無線や防災センター、教育施設の整備と耐震補強を優先すべきだが。

答 情報提供手段が多様化するものであり、加入率がそのまま費用対効果とは言い難い面もあります。全世帯の加入を目標

に取り組みます。

問 永源寺第二ダムは、計画変更を余儀なくされた。事業費は2・3倍の1100億円も必要とし、本市の負担は15年間、毎年4億円の負担が予想される。米価の低迷に苦しむ農家の負担も増大する。大阪高裁での訴訟では、原始的瑕疵も明確となった。市長は計画の白紙撤回を求めるべきだが。

答 事業費の増高は、受益者や行政負担となり、厳しい農家経営と深刻な地方財政から避ける必要があります。コストの縮減、環境との調和へ十分な配慮をし、安定水源確保に努めていきます。



KCN局

その他の質問

- ・三位一体改革と東近江市への影響について
- ・「元気で安心して暮らせる福祉のまちづくり」について
- ・農林業問題について
- ・商工業施策について

湖風クラブ

問 合併特別債活用による愛知川新橋の架橋計画は。

答 特別債は10年間と限られたなかで実現可能性等も考慮すると、愛知川沿線道路と新橋の架橋計画は、議会とよく相談し判断したいと考えます。

問 市長選挙の投票率が51・68%であり、市民の新市に対して関心が低いと考えるので市民を中心とした新市誕生記念イベントを計画すべきと考えらるが。

答 時期や内容を今後検討し、行政だけでなく市民の皆さんに参加してい

ただき、旧市町の垣根を低くして、新市の一体化を図れる記念イベントになるよう取り組んでいきます。

問 旧湖東町の介護保険施設用地を活用した施設整備計画は。

答 今後の計画は、介護保険被保険者や介護保険事業所等の市民の代表で構成された委員会により市民の意見を参考に策定します。

五葉クラブ

問 新市の規模から、現在の職員数は百数十人多いが、見直しと改善の時期は。

答 また、今日まで慣れ親しんできた役場は支所となったが、住民サービス向上のため身近な支所機能の充実が不可欠であるが、その具体策は。

答 職員の削減計画については、事務効率の向上、民間活力や市民の協力、組織の統廃合等を実施

し、新市まちづくり計画の進捗状況を勘案して退職者の補充を抑制し、10年後には目標である120人削減に向け取り組みます。

また、支所機能の充実については、本庁と支所との役割分担と住民サービスの向上と効率化を勘案し対応します。

その他の質問

- ・「心の合併」について
- ・地域活動への支援対策について
- ・一体感あるまちづくり実現への行財政改革の対応について

紅葉会

問 旧皇学園から寄贈の蛭谷町の施設利用計画は。

答 当地は、豊かな自然に恵まれ心安らぐ宿泊施設でもあることから有効活用の方で地元の意見を聞きながら検討します。

問 旧永源寺町で計画されていた政所地先の仮称

東部振興会館の17年度繰越明許費計上の説明を。

答 仮称東部振興会館は、住民の拠点施設として、平成15年度に用地確保しました。

しかし、平成16年中学校統合により政所中学校が廃校となり、改築し利用することが適当との答申のもと、市民とのパートナーシップを基本に検討を進めます。

その他の質問

- ・温泉施設の今後の整備と利用計画について
- ・山上町青野地区の町名について



愛知川の清流

公明党

問 日本の文化や生活習慣から、日本人は風呂好きである。旧永源寺町では昨年に温泉が湧出したが、観光振興や市民の福利施設の一環として、この自然の恵みを活用していく必要がある。整備計画や利用計画は。

答 この施設については、新市のネットワーク化の重要な施設と位置づけており、その利活用については、観光資源として活用を図っていくことはもちろんのこと、市民の憩いの場や交流の場としての活用も含め、十分、有効活用ができるよう検討します。

その他の質問

- ・東近江市の将来ビジョンについて
- ・東近江市のまちづくりの基本方針について
- ・「まちづくり指標」を設定することについて
- ・能力評価制度による市

民サービスの向上と行政改革について

無党派

問 未来を託す青少年が心豊かに成長するため「子ども条例」についてはどのような考えか。

答 制定に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

問 N.E.E.T.（ニート）と呼ばれる現象が増加し自立の遅れやひきこもり等、人間関係を築く能力の低下が新たな課題と専門家は指摘をしている。当市の青少年の自立支援事業は。

答 小中学校の体験学習の実施や、関係機関等との連携を強く実施していきます。

問 職員のメンタルケアをどのように把握し研修はどう進めているのか。

答 メンタルヘルスを職員研修に取り入れていきます。

東近江市議会議員 69人の顔ぶれ

東近江市議会議員は、合併特例法の在任特例の規定を適用し、平成17年10月末日まで引き続き69名の議員が在任します。本紙面では、各議員の氏名や所属委員会などをご紹介します。

 <p>森田 衆一 湖風クラブ 産業建設 湖東 2期</p>	<p>産業建設常任委員会 委員長</p>	 <p>畑 重三 新輝クラブ 文教民生 八日市 1期</p>	<p>文教民生常任委員会 委員長</p>	 <p>高橋辰次郎 紅葉会(クラブ) 総務 永源寺 5期</p>	<p>総務常任委員会 委員長</p>	 <p>寺村 茂和 緑風クラブ 産業建設 五個荘 3期</p>	<p>監査委員</p>	 <p>鈴木 重史 マーガレットクラブ 総務 愛東 2期</p>	<p>副議長</p>	 <p>高村 与吉 東近江市民クラブ 八日市 5期</p>	<p>議長</p>
 <p>大橋 保治 無党派 文教民生 五個荘 1期</p>	 <p>小森 幸三 新輝クラブ 産業建設 八日市 1期</p>	 <p>福島 與一 湖風クラブ 文教民生 湖東 1期</p>	 <p>澤田 康弘 マーガレットクラブ 文教民生 愛東 1期</p>	 <p>丁野 永正 東近江市民クラブ 総務 八日市 1期</p>	 <p>今若 羊治 東近江市民クラブ 総務 永源寺 1期</p>	 <p>河並 義一 東近江市民クラブ 文教民生 永源寺 1期</p>	 <p>井上喜久男 新風クラブ 産業建設 八日市 1期</p>				
 <p>平木 昭一 東近江市民クラブ 文教民生 永源寺 1期</p>	 <p>中島定一郎 東近江市民クラブ 文教民生 湖東 1期</p>	 <p>松下和一郎 新輝クラブ 文教民生 八日市 1期</p>	 <p>植田久米治 マーガレットクラブ 文教民生 愛東 1期</p>	 <p>吉岡源左衛門 マーガレットクラブ 文教民生 愛東 1期</p>	 <p>西村 一民 紅葉会(クラブ) 産業建設 永源寺 1期</p>	 <p>北川 満雄 緑風クラブ 産業建設 五個荘 1期</p>	 <p>日下山 幸 緑風クラブ 総務 五個荘 1期</p>				
 <p>西澤 善三 新風クラブ 文教民生 湖東 2期</p>	 <p>山田みを子 公明党 産業建設 八日市 2期</p>	 <p>畑 博夫 東近江市民クラブ 産業建設 八日市 2期</p>	 <p>川嶋 重剛 日本共産党議員団 文教民生 五個荘 2期</p>	 <p>横山 榮吉 新風クラブ 産業建設 八日市 2期</p>	 <p>深尾 俊幸 東近江市民クラブ 産業建設 八日市 2期</p>	 <p>馬場 憲一 東近江市民クラブ 産業建設 湖東 1期</p>	 <p>藤本 健一 東近江市民クラブ 産業建設 八日市 1期</p>				

 <p>太田 康博 マーガレットクラブ 総務 愛東 2期</p>	 <p>松岡 勲 マーガレットクラブ 産業建設 愛東 2期</p>	 <p>中村 肇 新輝クラブ 文教民生 八日市 2期</p>	 <p>寺村 義和 東近江市民クラブ 総務 八日市 2期</p>	 <p>大橋 政善 東近江市民クラブ 産業建設 湖東 2期</p>	 <p>國領みつ子 五葉クラブ 産業建設 五個荘 2期</p>	 <p>松本 光郎 新風クラブ 文教民生 副委員長 愛東 2期</p>	 <p>青山 弘男 新風クラブ 総務 湖東 2期</p>
 <p>小嶋柳太郎 湖風クラブ 産業建設 湖東 3期</p>	 <p>小林 源嗣 新風クラブ 産業建設 愛東 3期</p>	 <p>密谷要一郎 マーガレットクラブ 総務 愛東 3期</p>	 <p>植田 勲 湖風クラブ 総務 湖東 2期</p>	 <p>藤野 道春 新輝クラブ 総務 八日市 2期</p>	 <p>中村 昇 紅葉会(クラブ) 総務 永源寺 2期</p>	 <p>山本 清 マーガレットクラブ 産業建設 愛東 2期</p>	 <p>大洞 共一 東近江市民クラブ 文教民生 八日市 2期</p>
 <p>市田 治夫 緑風クラブ 総務 副委員長 五個荘 4期</p>	 <p>加川 泰正 公明党 文教民生 八日市 4期</p>	 <p>中澤 正孝 マーガレットクラブ 文教民生 愛東 3期</p>	 <p>田中 佐平 東近江市民クラブ 文教民生 湖東 3期</p>	 <p>森澤 文夫 五葉クラブ 文教民生 五個荘 3期</p>	 <p>太田 禎彦 東近江市民クラブ 総務 湖東 3期</p>	 <p>奥居清一郎 東近江市民クラブ 産業建設 副委員長 永源寺 3期</p>	 <p>西澤 和子 新風クラブ 文教民生 永源寺 3期</p>
 <p>井上 孝 東近江市民クラブ 文教民生 八日市 5期</p>	 <p>小林 優 新輝クラブ 総務 八日市 5期</p>	 <p>松野 幸夫 日本共産党議員団 産業建設 湖東 4期</p>	 <p>谷田 市郎 新風クラブ 産業建設 永源寺 4期</p>	 <p>加藤 勝彦 新風クラブ 総務 湖東 4期</p>	 <p>志井 弘 新輝クラブ 文教民生 八日市 4期</p>	 <p>西村 吉平 五葉クラブ 総務 五個荘 4期</p>	 <p>古谷 良衛 東近江市民クラブ 総務 永源寺 4期</p>
 <p>氏名 所属会派 所属委員会 出身旧市町名 期数</p>	 <p>豆田昇一郎 日本共産党議員団 総務 八日市 9期</p>	 <p>杉山 忠蔵 緑風クラブ 文教民生 五個荘 8期</p>	 <p>野田 清司 日本共産党議員団 文教民生 永源寺 8期</p>	 <p>野村秀一郎 日本共産党議員団 産業建設 愛東 6期</p>	 <p>諏訪 一男 五葉クラブ 産業建設 五個荘 5期</p>	 <p>吉澤 克美 東近江市民クラブ 総務 永源寺 5期</p>	 <p>西澤 英治 東近江市民クラブ 総務 湖東 5期</p>



一部事務組合議会議員

八日市衛生プラント組合

井上喜久男	山田みを子
畑重三	寺村義和
松下和一郎	小林優
平木昭一	諏訪一男
川嶋重剛	野田清司

中部清掃組合

小森幸三	藤野道春
西村一民	西澤和子
横山榮吉	森澤文夫
畑博夫	志井弘
中村肇	

布引斎苑組合

今若羊治	大洞共一
丁野永正	西村吉平
藤本健一	井上孝
國領みつ子	吉澤克美

東近江行政組合

河並義一	古谷良衛
深尾俊幸	杉山忠蔵
加川泰正	豆田昇一郎
市田治夫	

愛知郡広域行政組合

鈴村重史	西澤英治
田中佐平	野村秀一郎

湖東広域衛生管理組合

鈴村重史	田中佐平
太田康博	西澤英治

東近江市・能登川町・蒲生町 合併協議会委員

高村与吉	鈴村重史
植田勲	寺村茂和
志井弘	高橋辰次郎

●議員の辞職

4月13日付けで中川喜代司議員(緑風クラブ)が辞職されました。

3月定例会で審議した主な議案など

議案番号	件名	議決結果
第17号～第29号	平成16年度東近江市一般会計予算 ほか 12件	可決
第30号～第43号	平成17年度東近江市一般会計暫定予算 ほか 13件	可決
第44号	東近江市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	可決
第45号	東近江市農業委員会条例の制定について	可決
第46号	東近江市法定外公共物管理条例の制定について	可決
第47号～第48号	東近江市簡易水道の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ほか1件	可決
第49号～第52号	町(字)の区域及び名称の変更につき議決を求めることについて ほか3件	可決
第53号	東近江市固定資産評価員(高野治幸氏)の選任につき同意を求めることについて	可決
第54号～第55号	東近江市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について ほか1件	可決
第56号～第58号	東近江市、神崎郡能登川町及び蒲生郡蒲生町の廃置分合の申請につき議決を求めることについて ほか2件	可決
第59号	永源寺町木造交流施設新築工事変更請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決
第60号	東近江市助役(久田元一郎氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
第61号	東近江市収入役(種村善五郎氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
第62号	東近江市監査委員(福井嘉廣氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
第63号	東近江市監査委員(寺村茂和氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
第64号	東近江市教育委員会委員(足立進氏、岡井眞壽美氏、川副美知子氏、小島修氏、野村赤一氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
第65号	東近江市公平委員会委員(小椋喜八郎氏、久田幸子氏、松山庄治氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
第66号	東近江市固定資産評価審査委員会委員(木澤寛治氏、草野壽人氏、三輪高裕氏)の選任につき同意を求めることについて	同意
請願第1号	核兵器廃絶早期実現のための積極的行動を日本政府に要請する意見具申を求める請願	不採択
請願第2号	核兵器廃絶早期実現のための積極的な行動を日本政府に求める意見書採択の請願	不採択
請願第3号	平成18年度からの全県一学区の実施を当面見送ることを求める請願	不採択

編集後記

「みんなで作る うるおいと」にぎわいのまち 東近江市」が誕生して早や3カ月がたちました。

今日、地方分権の推進や三位一体の改革など、地方自治体への環境は極めて厳しい状況にあります。

私たちが市議会も、この厳しさの中において住民意識や社会構造の変化に対応した、また、市民に開かれた議会運営が重要であると考えております。

今回発行いたしました「議会だより」も、新市のまちづくりの情報提供の場として、市民の皆様親しんでいただきますよう期待をしております。

皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集委員

委員長 奥居清一郎
副委員長 山田みを子

委員

山本 清 井上喜久男
寺村 茂和 小林 優
川嶋 重剛 福島 與一
森澤 文夫 西村 一民